

1	(1)	2024	(2)	43
	(3)	$\frac{25}{12}$	(4)	9.32
	(5)	26	(6)	14.7
	(7)	$\frac{45}{8}$	(8)	$\frac{55}{4}$

4	(1)	4段 5 通り	5段 8 通り	6段 13 通り
	(2)	89 通り		
	(3)	5段 2 通り	6段 2 通り	7段 3 通り
	(4)	28 通り		

2	(1)	6 通り
	(2)	1300 円
	(3)	ウ, エ
	(4)	59 度
	(5)	126 cm <sup>3</sup>

3	(1)	125 円
	(2)	18750 円分
	(3)	175 円

5	上り方の総数は「2つ前の上り方の総数」と 「3つ前の上り方の総数」の和と考えて、以 下のように調べていく。				
	2段	3段	4段	5段	6段
	1	1	1	2	2
	7段	8段	9段	10段	11段
	3	4	5	7	9
	12段	13段	14段	15段	16段
	12	16	21	28	37
	17段	18段	19段	20段	21段
	49	65	86	114	151
	22段				
	200				
	答	22			段

小計	
1	

合計	
----	--

5

(1)	線の長さ	131.4	cm
	面積	1314	cm <sup>2</sup>
(2)		227.1	cm
(3)	(1), (2)より $227.1 - 131.4 = 95.7$ 長方形を1枚増やすと 95.7cm増える したがって $131.4 + 95.7 \times 9$ $= 131.4 + 861.3$ $= 992.7$		
	答	992.7	cm

小  
計  
2

6

(1)	①	午前 10 時 29 分 10 秒
	②	青
(2)	①	午前 10 時 38 分 45 秒
	②	赤
(3)	兄弟は、信号が青になる午前10時39分00秒...(A)から 駅に向かって兄がこぎ始める。 姉は信号まで行くのに $7000 \div 210 = \frac{7000}{210} = 33\frac{1}{3}$ (分) = 33分20秒 かかるから 午前10時8分 + 33分20秒 = 午前10時41分20秒...(B)に信号に着き、 このとき信号は青である。 (A)(B)より、2分20秒間 = $\frac{7}{3}$ 分で兄が進んだ $200 \times \frac{7}{3} = \frac{1400}{3}$ m の差を縮めればよい。 兄は残り2分40秒自転車をこぐので、この間、姉と兄の差は $(210 - 200) \times 2分40秒 = 10 \times \frac{8}{3} = \frac{80}{3}$ m縮まる。 よって 午前10時44分00秒では差が $\frac{1400}{3} - \frac{80}{3} = \frac{1320}{3} = 440$ m となる。 ここから 10分で $250 + 50 = 300$ m縮まるから 140m先にいる兄弟に姉が追いつくのは $140 \div (210 - 160) = \frac{140}{50}$ (分) = 2分48秒 したがって 午前10時44分00秒 + 10分 + 2分48秒 = 午前10時56分48秒	
	答	午前 10 時 56 分 48 秒